



登録有形文化財「藤岡家住宅」

令和3年7月1日（木）～9月18日（土）

灯

「アカリノカタチ」展

〒637-0016 奈良県五條市近内町 526

☎0747 (22) 4013 info@uchinono-yakata.com

月曜休館・月曜祝日のときは開館して翌日休館。9時～16時。大人300円/小・中学生200円

「灯・アカリノカタチ」展

令和3年7月1日（木）～9月18日（土）

登録有形文化財「藤岡家住宅」・NPO 法人うちのの館（やかた）

〒637-0016 奈良県五條市近内町 526 番地 ☎と FAX0747(22)4013

月曜休館・月曜祝日の時は開館して翌日休館・9時～16時

維持管理ご協力金（入館料）高校生以上 300 円/小・中学生 200 円/20 名様以上 2 割引
ご見学のほか、お食事、会議、講演会、俳句会、コンサート会場、お茶会
などにもご利用下さい。お食事は 2 日前までにご予約をお願いします。

Info@uchinono-yakata.com [http:// www.uchinono-yakata.com](http://www.uchinono-yakata.com)

「藤岡家住宅」に残る行灯や火屋、ランプといった灯火具（江戸～昭和）。明治時代の物理学による「光」論。「灯」を描いた俳句、絵画等人々の捉えた「灯」の世界を語る資料を展示します。

遠州行灯
（江戸時代）

第二十四課 光論又視学論

光ノ本質ト物色及ビ視覚ノ原由（げんゆゆニ原因）トヲ譯（たずぬ）ルハ、視学ノ、本旨（ほんこう）ニシテ光また世上最要ノモノタリ、蓋（けだ）シ其（その）徳タルヤ广大窮（きわまり）リナク六合ニ普（あまね）ク彌（わた）シテ物体ヲ明照ス。若（も）シ光ナケレバ、万物ヲ視（み）ル事カナワズ、古今賢者ノ書モ読ムコトヲ得ズ、妻子朋友ノ愛モ悦ブベカラズ、禽獸草木（きんじゅうそうもく）ノ美、万国珍器ノ玩（がんニ味わいのこと）モ樂シムベカラズ、故ニ其ノ徳ノ广大ナル得テ知ルベキナリ。

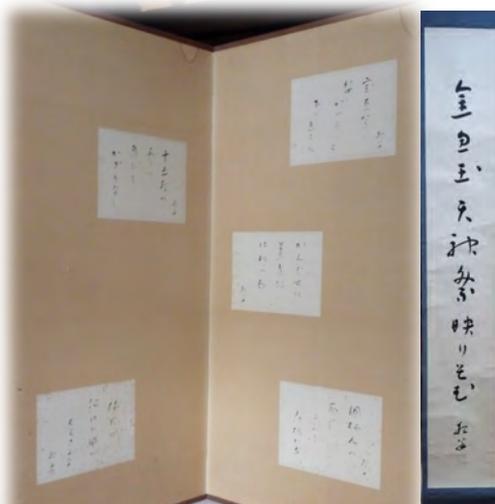
夫（そ）レ光ハ太陽及ビ恒星ヨリ分レ来リテ其（その）質至微至細ナル一元素ナリ、然レドモ光ヲ生スルノ道独リ爰（こゝ）ニ止ラズシテ、六種ノ本源アリ。

第一日光。第二火光。第三燐光。第四鹹光（かんこうニ塩による発光）、第五電光、第六蟲光是レナリシヲ其（その）中、日光、火光ノ二ヲ正光トシ其ノ燐光（りんこう）ト称スルハ、暗黒少雨ノ夜、塚壘の地、若（もし）クハ、陰湿ノ藪ニ於（おい）テ腐敗スル動植湿氣ノ為（た）メ、燐化（りんか）シテ光ヲ発シ、其（その）色青緑ニシテ婦女子ノ常ニ鬼火ト唱フルモノ是（こ）レナリ。又暗夜ニ海面ヲ拍（ウ）テバ、鹹水（かんすい）光ヲ発シテ、浪花恰（あたか）モ星ノ粉飛スルガ如キヲ見ル。此類を鹹光（かんこう）トイフ。又、螢ノ類、或（あるい）ハ、海面ヲ照ラス一種ノ虫アリ。是等（これら）ヲ蟲光ト名（な）づく。

光ノ本性亦（マタ）温ト同ウシテ学者ノ疑惑スル所多ク、其説、粉々未タ詳（つまびら）カナラズト雖（いえど）モ、近時普通ノ説ニ於テハ、五官ノ能（よ）ク辨知（べんち）シ難キ流動物ニシテ周（あまね）ク天地ニ充滿スル靈氣ノ顛動ヨリ發シ、人智ノ測ルベカラザル速力ヲ以テ諸方ニ広布スト云ヲ、此説一タイ世ニ行ノシヨリ光ノ定則頗（すこぶ）テ諸方に散布スル事。



明治5年片山淳吉著『物理階梯』明治8年（1875）高橋平三翻刻/慶応4年『博物新編』合信著



「後藤夜半句」「金魚玉天神祭りそむ」「狐火に河内の国の暗さかな」「十五夜の雲の遊びてかぎりなし」「国栖人の面をこがす夜振かな」



生蠟燭 明治14年 膳燭 明治34年



「日本橋」大谷尊由画
『東海道五十三次画卷』大正8年



「十二階下のサロメ」
平井宗一画 大正時代